

受大総第 1741 号
令和7年12月18日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

大山町長 竹口 大紀
(公 印 省 略)

大山町議会からの政策提言について(回答)

令和7年11月27日付け発大議第485号をもって提出のあった標題の件について、別添のとおり回答します。

大山町議会からの政策提言について
回答書

令和7年12月18日

①名和マラソンフェスタについて（商工観光課）

名和マラソンフェスタは目的を「健康増進・参加者相互及び地域住民とのふれあい・観光促進」として、実行委員会が実施しているものです。

目的のどの部分により重点を置くかは特に定めておりませんが、満足度や参加者数の目標値設定は必要だと考えます。

また、事務局については現在大山町商工観光課が対応しておりますが、事業主旨をご理解いただける団体や個人の方に事務局機能を担っていただくことがより良いことであると認識しているところです。今後ともそのような適格人材の情報収集に努めてまいります。

なお、本事業へは過去に町より経費補助を行っていたところですが、現在は参加費等により運営可能な状況であり、補助金等支出は行っておりません。一方で関連団体や町職員の動員により当日運営されているところであり、町が事務局を担う動員を伴う事業等全体について、今後事業実施体制の整理は必要な状況と考えます。

②診療所費について（健康推進課）

町営診療所の目的は、必要な医療サービスを安定的に提供することにより地域住民の健康を守ることです。

現在、それぞれの診療所において常勤医師等医療従事者を確保し、医療サービスの提供に加え、健診や予防接種等の予防医療を安定的に提供しています。

しかしながら、人口減少に伴う患者数の減少に加えて、診療報酬改定が人件費増、物価高騰に追いついておらず、経営状況は悪化しており、今後も地域住民へ安定的な医療サービスを提供するため、持続可能な診療所体制の構築を図っていきます。

1) ジェネリック薬品のさらなる活用

これまでも可能な限りジェネリック薬品の活用に取り組んでいるところであり、今後もジェネリック薬品を活用した経費節減、患者の負担軽減に努めていきます。

2) 医薬品の在庫管理の適正化

医薬品の廃棄を可能な限りなくすよう3診療所での共有化など取り組んでいますが、今後もさらなる在庫管理の適正化に努めていきます。

3) 医薬品等の仕入れ価格の適正化

新たな医薬品等を仕入れる際にはそれぞれの診療所において複数業者による見積もりを行っていますが、今後は3診療所全体での見積もり徴取の検討など

さらなる適正化に努めていきます。

4) 医療機器の適切な配置と運用

現在それぞれの診療所で同様な医療機器を保有していますが、医療機器の共有化や診療所毎の機能分化など取り組んでいきます。

5) 医師・看護師・医療事務の適正配置

これまで基本的には診療所毎に職員配置を行っていますが、3診療所全体での最適化を図っていきます。

6) 大山口診療所心療内科の在り方

心療内科は内科同様患者数が減少しており、今後の医療ニーズの動向や医師の定年も踏まえた心療内科の在り方を検討していきます。

7) 診療所再編案の検討と住民の合意形成

将来的な大山口センター化に向けて、令和8年度は一部派遣医師の廃止及び土曜日診療の集約化に取り組みます。

住民の合意形成については、大山の地域医療を考える会や広報だいせん等での周知に努め、利用者の皆様には丁寧な説明に努めていきます。

8) オンライン診療や薬の宅配など医療サービスの充実

オンライン診療については今年度から一部の地域で郵便局と診療所をつないだオンライン診療を実施する予定であり、その実証状況を踏まえて将来的なデジタル技術を活用した医療サービスの充実に向けて検討していきます。

9) 訪問看護の導入

在宅医療のニーズは2040年頃まで増加していく見込みであり、訪問診療の充実に加えて訪問看護の導入も検討していきます。

10) 診療所の民間移管

診療所の在り方については、今後も直営で行う考えです。

11) 診療所の目的だけではなく目標を明確に

診療所の目標については、運営計画の見直しを進めており、その計画のなかで明確にしていきます。

12) 事務長の配置など組織運営体制の整備

組織運営体制の強化については、診療所の経営戦略、労務管理等を担う人材の配置やセンター長の配置による意思決定機能の強化を検討していきます。